

報道部特集

「東北大学新聞」の作成風景をご紹介します!

① ネタ出し

記事にしたいネタを部員が持ち寄り、部会で提案します。学内外で重要なニュースが飛び込むこともありますし、記事執筆の依頼や、部会でネタがふと浮かぶことも。いずれの場合も、部員の中から執筆担当者を希望で募り割り振ります。ちなみに、部会では報道部が行うイベントについても話し合います。報道部の部会は、学年関係なく意見しあいながらも和やかな雰囲気で行われます。

② 取材

ネタが決まったら、アポイントメントを部員自らとり、取材に臨みます。取材に使える時間はほんのわずかですので、あらかじめ答えを予測しつつ質問を考えています。意外な答えに驚いたときや、知らなかった事実が明らかになったときは、取材してよかったと感じることも。聞いたことは話を聞きながらメモ。人によっては1回1時間の取材で見開き2ページ以上ノートを使います。



③ 執筆

持ち寄った記事は各自書き上げ、部室にあるバインダーへ。書いた記事の体裁が整っているか、細かな言葉遣いのミスがないか、意味が通じるかなどを部員がチェックします。この作業を「赤入れ」と呼び、そこで指摘されたことを反映したらまたバインダーへ。この一連の作業を繰り返すことで、記事の質を高めていきます。



④ 編集・発行

記事が集まれば、いよいよ編集です。部会で記事を配置する面が決まりますが、同じ面の中で記事や写真をどのように配置するかは担当者の仕事。この作業を「割り付け」と呼びます。割り付けが終われば、その場にいる部員で見出しを作成。出来上がった紙面は入稿前に試しに印刷され、何度も部員によってチェックされます。この作業は入稿日まで続きます。最後に編集長が紙面のデータを印刷会社に納めて完成。紙面が届いたら、各ポストへと部員が配布します。

学友会費納入のお願い 学友会は皆さんの会費で支えられていますので、学友会費の納入にご協力をお願いします。

問い合わせ先 **022-795-3983** (活動支援係: 教育・学生総合支援センター1階2番窓口)

七大戦・2年ぶり13度目の優勝!

第56回七大学総合体育大会で、本学が2年ぶりに総合優勝しました。冬季春季競技が終了した時点で4位だった本学は、陸上競技(女子)の優勝を機に1位に浮上しました。その他にも男女バレーボール、女子バスケ、ゴルフなど多くの競技で優勝し、ポイントを重ね、首位をキープし続けての総合優勝となりました。

優勝チームキャプテンから一言!

陸上競技部(女子)



七大戦ではこれまで多くの悔しい思いをしてきた分、今回の女子初優勝を大変嬉しく思っております。この1年間、常に競争心を持って、仲間と高め合ってきたことが優勝に繋がりました。来年は男女優勝を目標に、更に練習に励んで参りたいと思います。

柔道部



前年度の第3位という悔しい結果をバネに、より一層厳しい練習に励んできた仲間達と七大戦優勝の喜びを分かち合えた瞬間は、人生において何にも変え難い最高の経験です。今後とも七大戦の二連覇を目指し、部員一丸となって日々の稽古に励んでいきます。

学友会報道部が全ページを編集しています!

特集「ホームカミングデー」

ホームカミングデーが9月30日・10月1日の2日間、本学川内キャンパス内にて開催されました。「わたしの仙台・わたしの東北大学」をテーマに、本学創立110周年を記念して様々なイベントが催されました。



せんだい杜の音楽祭

せんだい杜の音楽祭は、10月1日に東北大学百周年記念会館川内萩ホールで開催されました。学生やOB・OGだけでなく、多くの市民の皆さんも訪れ、会場は大変賑わいました。

音楽祭は東北大学学友会応援団と書道部によるパフォーマンスで幕を開けました。音楽祭の核となるメインステージは3つのプログラムから構成され、本学学友会吹奏楽部などによる音楽ステージ、合唱団「萩」などによる合唱ステージ、そして最後に卒業生・市民有志による全体合同ステージそれぞれが多彩な曲を披露しました。

在校生・卒業生交流会

川内南キャンパス文化系総合講義棟では在校生と卒業生の交流会が行われました。

第一部は卒業生との懇談会で、在校生は各業界で活躍する卒業生から進路や勉強についてのアドバイスを受けました。第二部は卒業生との交流会で、卒業生と在校生は立食パーティーを楽しみながらさらなる親睦を深めました。

在校生からは「貴重なお話を聞くことができ、とても有意義だった」と喜びの声が聞かれました。



“KIZUNA” スウィーツタウン& mini 仙台・青葉まつり

川内萩ホール前では「東北大学“KIZUNA” スウィーツタウン」が開催されました。「カフェ・モーツァルト クレーズコーヒー」をはじめ、本学内の喫茶店や仙台市内のケーキ屋・和菓子屋など8店舗が出店しました。

また、同会場では「mini 仙台・青葉まつり」と題し、「愛(めぐ) 姫山車」や、祭連(まづら)によるすずめ踊り、伊達木遣り隊による木遣りなどが披露され、来場客を沸かせました。



魅力あふれる準加盟団体

「漫画研究会」



▲漫画研究会展示会の様子



漫画研究会では、活動として年に2回の部誌の発行や大学祭などの原稿展示に向けた原稿作成を行っています。原稿作成期間ではない時は各個人で自由にイラストなどを描いています。

しかし、大学祭の原稿展示会や部誌発行に向けた原稿作成期間になると各々の作品の完成を目指し、真摯に作業に取り組みます。

部長の岡知樹さん(教・2)は「自分もそうでしたが、大学から漫画を描き始める人が大勢です。しかし、周りの部員と高め合うことで、楽しみながら自分の漫画を作成できるようになりました。」と話します。漫画でいかに上手く表現できるかを日々研究し、切磋琢磨しています。

「技術経営研究会VEX」

今年2月5日に開催され「SENDAI for Startups! ビジネスグランプリ 2017」に参加した技術経営研究会VEX。独自開発した教科書売買アプリ「BookHub」によって学生起業家特別賞を受賞しました。同アプリに基づく事業計画を審査員にプレゼンテーションし、高い評価を得ました。

今後は、同アプリのリリースや大学発ベンチャーの立ち上げの支援などを行っていきます。



▲VEX 代表の曾根原正樹さん(法・3)